

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

学校名	鳥栖市立基里小学校
1 前年度 評価結果の概要	○「小中一貫教育の具体的実践に取り組んでいる」という実感を教職員が十分感じるところまでは至っていなかった。 ○主体的学習習慣の育成をめざして取り組んできた「家庭学習の定着」に成果が現れてきている。今後は、家庭学習と授業とのつながりを意識した授業改善にも取り組む必要がある。
2 学校教育目標	「誇りと生きる力を身に付け、心身ともに豊かな基里っ子」の育成 ～ みんなにとって気持ちのよい学校にしよう ～
3 本年度の重点目標	①小中合同の授業研究等を推進し、校務分掌を含めた情報交換を継続的に行うことにより、小中一貫教育の更なる充実を図る。 ②だれもが分かる喜びを味わえる授業改善に努めるとともに、家庭と連携し、学習の定着を図る。

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目

重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ・授業改善 ・家庭学習の徹底	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ○授業作りステップ1・2・3のチェックシートで振り返り、授業力向上に役立てたと回答する教師90%以上 ○家庭学習の手引きの活用率70%以上 ○学校評価アンケートによる家庭学習の徹底率90%以上。	・「スキルタイム」「もくもくタイム」の充実 ・少人数指導・TTIによる指導の充実 ・授業作りステップ1・2・3の活用 ・家庭学習の手引きの周知 ・生活チェック表を用いた家庭学習の振り返り
	○読解力の育成 ・自分の考えを書く活動を取り入れた授業実践 ・読書の推進	○市販テストで、国語科・算数科の思考力・表現力を問う問題について、全国平均率を上回る。学力状況調査で、国語科・算数科の考え方が県正答率を上回る。 ○「自分の考えを相手に分かるように書くことができた。」と回答した児童80%以上。 ○学校評価アンケートで「本をたくさん読んでいる」と回答した児童80%以上	・情報を探し解釈する力に加え、自分の考えをもち、人に伝えるように表現する力までを読解力と定義し、考えを表現する活動を取り入れる。 ・ペア活動、グループ活動などの交流活動を取り入れ、思考力、表現力を育成する。 ・読書の推進を図る。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした教師90%以上 ○総合的な学習の時間や、学校行事が「楽しい」と回答した児童80%以上。 ○体験活動の積極的な導入に努めたと回答する教師80%以上。	・「特別の教科 道徳」の研修を深め、教科書や教材の活用方法を工夫し、日頃の授業研究に努める。 ・授業や行事の中にも発信する場面を計画し、異学年や地域との交流機会として設定する。 ・総合的な学習の時間において、児童の興味・関心を生かしながら、探究活動において体験学習をより多く取り入れていく。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校が楽しい」と答える児童90%以上。 ○「困ったことや悩みがあったときは話せる相手がいる」と回答する児童80%以上。 ○QU結果を学級経営に役立てていると回答する教師80%以上	・生活アンケート結果や生徒指導、教育相談連絡会の情報を共有 ・気になる児童への支援体制を備える。 ・QU結果の活用
	○特別支援教育の充実	○特別支援学級在籍児童、通級指導教室利用児童、診断を有する児童について、個別の支援計画・指導計画の作成100%。	・個別の支援計画・指導計画の作成・実施・評価・引継ぎのスケジュールを示す。 ・個別の支援計画・指導計画の保管場所を定め、共有する。
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上。	・長期的な目標として、「将来の夢」や「めざす人間像」を考えさせる教育活動を仕組む。 ・年間や学期ごとのめあてを意識させ、振り返り、長期目標に繋げたりする。 ・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●アンケートで、「体育や運動が楽しい」と答える児童が全学年90%以上。	・体育の授業例や学習カード、がんばりカードなどを紹介し、それを活用した授業を行う。 ・昼休み等の外遊びや体育館での遊びを勧め、担任も1週間に1度は一緒に遊ぶように努力する。 ・体育委員会や運営委員会で学校の児童みんなで遊ぶ時間を設定する。
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「給食を残さず食べる」と回答する児童95%以上。	・食育に関する授業を通して、食の大切さに触れる機会を作る。 ・給食週間等で、給食のよさを伝えたり、残食調べをしたりして、給食を残さず食べる意識を高める。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ・働き方改革にむけた意識改革が高まったと回答する教職員80%	・教職員一人一人の意識改革 ・定時退勤日実施の徹底 ・休暇を取得しやすい職場環境づくり
	○コミュニティ・スクールの活用による業務の効率化	○外部人材の活用で、教職員の働き方改革を実感した教職員80%以上	・学校行事等の積極的な協力依頼(お茶摘み体験、運動会、交通安全教室、生活科・総合的な学習等の学習支援) ・「基里っ子見守り隊」による登下校の安全確保

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開各学年1回以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間2回以上公開した学級率100%以上	・授業参観で教科「日本語」の授業公開をする。 ・学年便り、学級便り等で教科「日本語」の授業で学習した内容を知らせる。
○小中一貫教育の充実	○児童生徒の心の充実	○「小中合同の研究を行うことで、児童生徒の理解が深まった」と回答する教師80%以上 ○各研修会後のアンケートで、指導に役立ったと回答した教師80% ○「小中特別支援教育担当者の連携が、児童生徒の心の充実につながった」と回答した教師80%以上。	・小中合同研究会の開催 ・研修会の実施(人権同和教育、特別支援教育、教育相談) ・小中特別支援教育担当者による情報交換会の開催や、スムーズな移行支援のためのコーディネーターの連携
○小中一貫教育の充実	○児童生徒の学びの充実	○「校内研究に積極的に取り組んだ」と回答した教師80%以上 ○保護者による学校評価アンケートで「小中一貫教育に取り組んでいることを知っている」の回答を、昨年度より10%上げる。	・高学年は中学校との交流活動を年間1本ずつ、乗り入れ授業を各学年年間1本以上行う。 ・授業の約束や家庭学習の手引き等を小中で共通実践し、授業規律の徹底と授業改善を行う。

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育